

ご活用ください！ 本庁舎サードプレイス

本庁舎サードプレイスは、青森らしいまちの回遊性を有し、訪れる人たちが憩い、安らぐことができる居心地のいい場所「市民のサードプレイス」をコンセプトにしています。庁舎としての役割のほか、公民連携を通じて行政と民間がそれぞれの強みを活かし、市民の役に立つ新たな価値を創り出す場として、市と共催する取組に活用してみませんか。

サードプレイスを活用したユニークな共催事業の提案をお待ちしています。

問管財課 (☎017-734-5115)

◆利用条件

市との対話を通じて**共催可能な取組**
商業宣伝または営利を主たる目的とするものでないもの
政治的または宗教的活動でないもの など

◆共催事業例

地場産品PRのためのマルシェを開催 (R5. 8/2~6)

◆使用時間

原則 8:30~18:00

詳しくは、市ホームページを
ご覧ください。▶



1階ロビー 約456㎡



エントランスホール 約192㎡



北のひろば 約1,254㎡



南のひろば 約1,760㎡

あいさつから始めよう！
おもてなしの心



令和5年度 新採用職員
高齢者支援課 山口

元気な挨拶と明るい笑顔、
丁寧な接遇で市民の皆さん
をお迎えします。

接遇強化キャンペーンを実施します！
市では、全庁を挙げて取り組んでいる接遇の向上・挨拶の励行・窓口環境の改善について、改めて全庁職員の意識啓発を図ることを目的に、1月から2月までの2か月間、接遇強化キャンペーンを実施します。
問人課
(☎017-734-5011)

問子育て支援課
(☎017-734-5334)
浪岡振興部健康福祉課
(☎0172-62-1113)

▼令和5年度の「児童扶養手当現況届」が未提出または書類不備のかたは、令和6年1月振込分からの手当が差し止めとなります。必ずご提出ください。

▼転出入、対象児童に増減が生じた(出生、児童の施設入所など)、受給資格がなくなった(子を養育しなくなった、婚姻、異性との同居など)、公的年金を受給できるようになったなどの変更があったときは、速やかに届出しましょう。

▼令和5年度の「児童扶養手当現況届」が未提出または書類不備のかたは、令和6年1月振込分からの手当が差し止めとなります。必ずご提出ください。

**1月11日は
児童扶養手当の支給日**

市では、離婚や未婚、遺棄などにより、父または母と生計を同じくしていない児童を養育している家庭に「児童扶養手当」を支給しています。
1月11日(木)は、児童扶養手当の支給日です。※11・12月分の手当を支給します。

令和6年度 給与支払報告書 の提出はお早めに！

圏市民税課 (☎017-734-5197)

提出期限は **1月31日(水)** です。 窓口が混み合いますので、早めの提出にご協力ください。

■全事業所で特別徴収を実施します

本市では、原則として所得税の源泉徴収義務のある全ての事業所で、市民税・県民税の特別徴収を実施しています。次の理由に該当するときのみ普通徴収としますので、理由の略号(A～E)を、給与支払報告書(個人別明細書)の摘要欄に必ず記入してください。

理由	略号
受給者総人員が2人まで	A
退職者	B
他事業所で特別徴収の者(乙欄該当者を含む)	C
給与不定期・税額が引ききれない(年間965,000円以下)	D
休職者または休職・退職予定者	E

eLTAX(地方税のオンライン手続のためのシステム)でも給与支払報告書を受け付けています。ぜひご利用ください！



■令和6年度から特別徴収税額決定通知(納税義務者用)の電子化を開始します

給与支払報告書をeLTAXで提出する事業所で、特別徴収税額決定通知(納税義務者用)の受取を電子データで希望する場合は、給与支払報告書を提出する際に「納税義務者用通知:電子データをeLTAXで受け取る」を選択してください。なお、従来どおり書面による受取の選択も可能です。

また、令和6年度から特別徴収税額決定通知(特別徴収義務者用)は、正本の電子データまたは書面による通知のいずれかの選択となります。



詳しくは、市ホームページをご覧ください。▶

西秀記の



コラム



11月24日、本市で初めての地域おこし協力隊活動報告会を開催。現役隊員とOBOG隊員の活動報告後、参加した皆さんで青森のソウルフードである棒パンを作りながら交流。本報告会で生まれた地域とのつながりを大切にしながら、今後も隊員の皆さんが活躍することを期待しています。

11月29日、(株)JR東日本青森商業開発様と(株)青い森工房様が、青森市産りんごを三内丸山遺跡の縄文地層から採取された酵母で発酵し、A-FACTORYシードル工房で醸造したシードルを紹介するため来庁。醸造者も市民とのことで、オール青森市で作上げたこだわりと青森愛を感じました。

同日、(株)読売広告社様が、ねぶたのかけら(運行したねぶたの彩色和紙の端切れ)を使った「名刺入れ」を竹浪比呂央研究所様と制作し、リレー形式で贈る「青森シビックプライドリレー」を実施。竹浪様から私へ最初のリレーが行われました。ねぶたは、市民が世界に誇れる最たるもので、新たな魅力と価値の創造につながることを再確認できました。

これからも新たな挑戦や取組を行う皆さんを、青森市は精一杯応援していきます。



11月24日 青森市地域おこし協力隊活動報告会。協力隊員の皆さんは、首都圏から移住し、就農や移住者誘致などのミッションに取り組んでいます。任期を終えた隊員も地域活性化のために活動を続けています。